

(別紙4(2))

事業所名 中部介護アウト・オン・ア・リム

目標達成計画

作成日: 平成28年 3月13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	職員は日常の介護・医療的なケアを中心にしている状況から、入居者と向き合える時間が限られてきている。入居者と職員が「一緒に同じ時間を過ごしている」なかで、お互いに信頼関係を築き続けていくことが大切になってきている。	介護・医療的なケアの合間で、入居者と向き合える時間帯は大切に活用していく。その上で本人の尊厳を遵守した接し方を心掛けていき、信頼できる相互関係で支え合っていく。	日々のコミュニケーションにおいても接し方や言葉遣いなどに意識と配慮を心掛ける。また、日常生活上で職員が積極的に支援するだけでなく、入居者の方々にも自分の「出来ること」で職員を支えて頂けるように信頼関係を築く。	3～4ヶ月
2	26	入居者の介護計画書は計画作成担当者が作成しており、6ヶ月での見直し・更新が行われている。入居者本人や御家族へは介護計画内容が説明されているが、職員が内容を共有して日常の支援に繋げるための取り組みが不足しつつある。	入居者個々の介護計画書は個人ケースファイルに添付されているので、記述内容をベースに職員間で意見・提案・相談しながらチームケアを向上させていく。	介護計画書に記述されたケア方針内容については定期的カンファレンスを実施していきながら、日常生活上の変化に対しても現場で情報共有に使っている「申し送りノート」と毎日の出勤者が集合して入居者の状態の再確認・把握なども徹底して引き継いでいく。	3ヶ月
3	11	各入居者の個別ケアに対しては、職員間で各々がお互いの意見や提案に対して理解を示して実践に反映してきているが、ホームの運営方針に関わる事案については代表や管理者を交えて話し合いの場を設ける機会が少ない。	現場で働く職員が職場環境や運営内容に対して何を感じているのか、どんな相談や意見・提案をしたいのか。理解を深められる機会を増やしていく。	各職員の意見・相談等は管理者を主軸として話し合っていく。運営内容や方針については代表の意見や判断を必要とする場面が多いため、職場内からも代表への報告・連絡・相談ができるように努める。	4～5ヶ月